

『このゆびとまれプロジェクト』

創立50年という節目を迎え、今後、愛敬園が西区・手稲区を拠点に地域に向けて果たす役割（取り組み）を改めて明確化し、1人でも多くの人に認知してもらいサービスを利用してもらう事で、負担感、不安感を軽減し、住み続けられるまちづくりの一助となれるように長期的なプロジェクトを進めていく。

法定サービス以外で収益を上げることは難しいが、制度の谷間・狭間で福祉的課題がある人に対して、人的・経済的支援でこの福祉課題を解決していく事が、『このゆびとまれプロジェクト』の幹である。

地域で人的ネットワーク（協働）を構築し、『誰一人取り残さない地域・社会』をスローガンに、公平な保育・福祉サービスの提供と、住み続けられるまちづくりに貢献をしていく事がコンセプトであり、愛敬園が出来る事を率先しておこなっていく事で、地域・社会への貢献をおこなっていく。

時代背景と共に、地域・社会で抱える問題は変化していく。変化する問題に対して、柔軟に対応し解決していくことも、このプロジェクトの一端である。